

3 広島都市圏におけるバス交通の現状

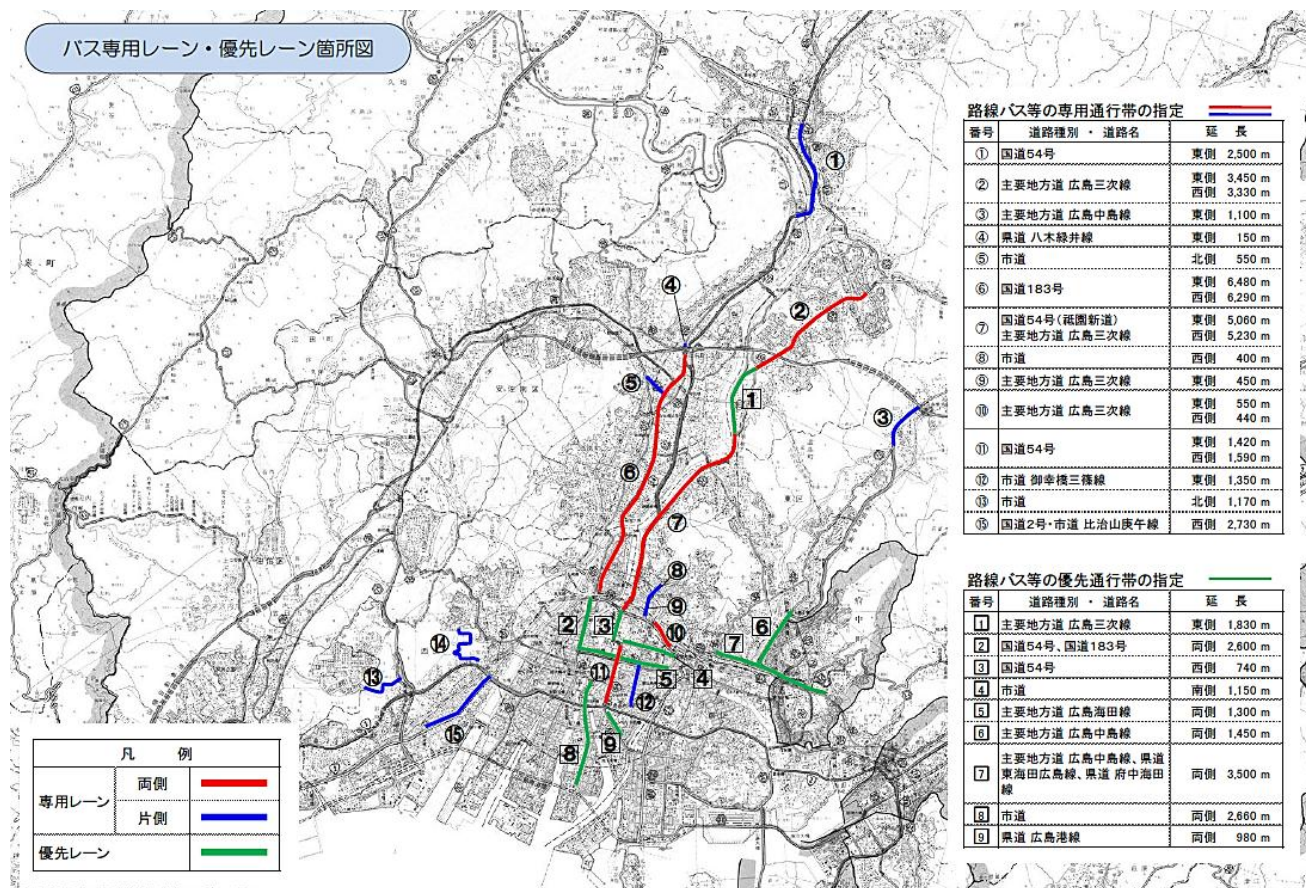
(1) 都心と拠点地区を連携強化する公共交通ネットワークの形成

基幹交通の役割を担っているバスについては、高速道路利用、バス専用レーン、急行便の導入などにより、一定の定時性、速達性は確保されているものの、路線によっては、渋滞による影響を受けるとともに、急行便の便数が少なく、他の公共交通利用に比べ割高となっている。

高陽方面から都心への所要時間	一般バス (下深川駅前-紙屋町 (広島バスセンター)) [3本/ピーク1時間]	急行バス(※1) (下深川駅前-紙屋町 (広島バスセンター)) [3本/ピーク1時間]	JR芸備線 (下深川駅-紙屋町) [4本/ピーク1時間]
	36分	30分	23分+3分+14分=40分(※2)
高陽方面からの運賃(下深川駅前⇒紙屋町)	バス(急行バス含む)		JR芸備線
	440円		230円+150円=380円(※2)

※1 下深川駅前⇒紙屋町(広島バスセンター)の急行バスの便数は4便/日
 ※2 広島駅・紙屋町間は路面電車利用(乗り換え時間も加算)

美鈴モール⇒広島バスセンター 所要時間	朝ピーク	オフピーク	所要時間の差
	31分	25分	6分



(2) デルタ周辺の交通拠点から都心へのアクセス強化

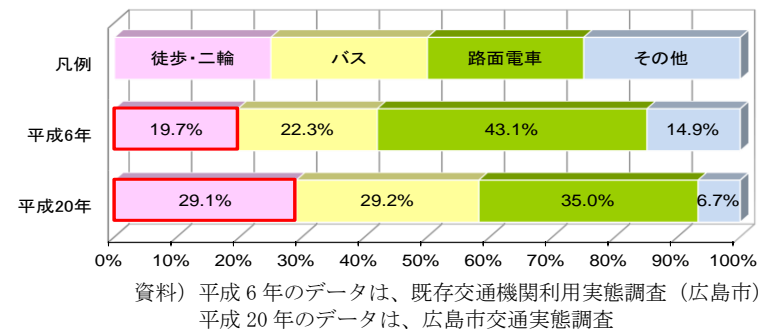
比較的距離が長く、バスの柔軟性を活かし、急行便を導入している「西広島駅⇄都心」の利用率が高い。

一方で、「横川駅・広島駅⇄都心」は、路面電車の利用が多い状況。

広島駅においては、降車バスが広場になく乗継に時間を要するなど、交通拠点によっては、乗継に不便な状況となっている。交通拠点における交通機関相互の乗継利便性を確保する必要がある。

- ・ JR広島駅から紙屋町・八丁堀地区を目的地とするトリップは、平成6年と比較すると、徒歩・二輪が増加している。

JR広島駅降客の交通機関分担(紙屋町・八丁堀地区方面)

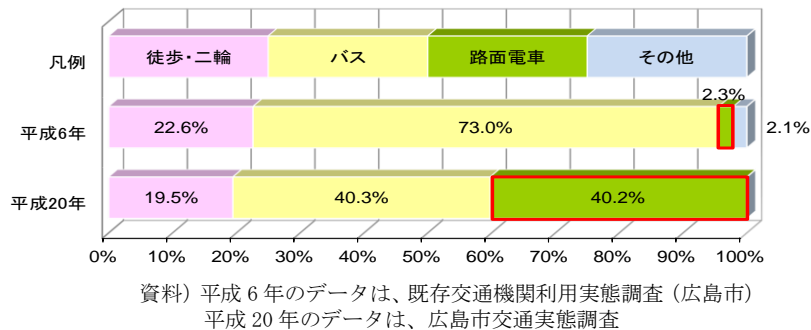


JR広島駅⇒紙屋町バス・路面電車比較

交通機関	運賃	所要時間
バス	150円	7分
路面電車	150円	14分

- ・ JR横川駅では、平成6年と比較すると、路面電車利用が約38ポイント増加しており、都心便の運行などの効果であると考えられる。

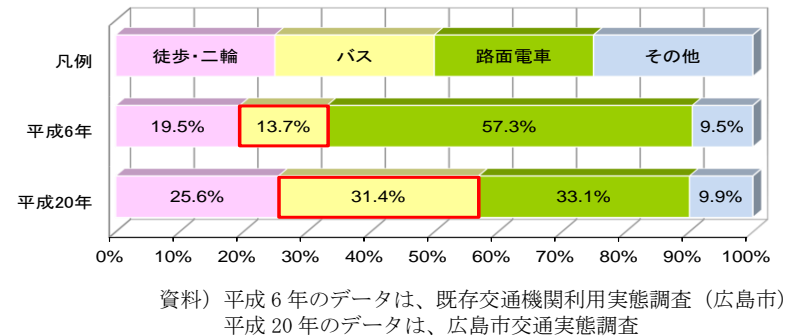
JR横川駅降客の交通機関分担(紙屋町・八丁堀地区方面) JR横川駅⇒紙屋町(広島バスセンター)バス・路面電車比較



交通機関	運賃	所要時間
バス	190円・150円	6分
路面電車	150円	13分

- ・ JR西広島駅では、平成6年と比較すると、バス利用が約18ポイント増加しており、通勤用急行便の運行などの効果であると考えられる。[図表-18]

JR西広島駅降客の交通機関分担(紙屋町・八丁堀地区方面)



JR西広島駅⇒市役所バス・路面電車比較

交通機関	運賃	所要時間
バス	210円	14分(急行)
路面電車	150円	26分